

橋本裕司織布

幸せに貢献する

（目的理念）

わたしたちは織物を通じてお客様の笑顔とワクワクを創ります
お客様の背中を一押しするモノ、提供した生地・製品を使う日常に笑顔を生むモノづくりを目指していきます

（行動理念）

わたしたちはお客様に感謝し良きパートナーとして織物の仕事を探求します

（福祉理念・社会理念）

わたしたちは幸せに暮らしていくため相互に気を配り研鑽します
わたしたちは播州織産地の現場と連携し産地の発展に貢献します



社 名：橋本裕司織布
住 所：多可郡多可町中区岸上391
役 職：代表
氏 名：橋本 裕司
所 属：北播支部
同友会入会：2023年3月

■事業内容及び企業の沿革

事業内容

綿スフ織物業。生地の受注生産、商品（ストール）の受注生産。

企業の沿革

1964年祖父が橋本源治郎織布工場として創業。自宅の横でドビー装置付織機6台からスタートしました。従事していた父、功が難易度の高いドビー織物に挑戦し、更に2重ビーム織物の製織にも成功します。そして創業より20年ほど経ち橋本功織布工場に承継。

2004年に父が心筋梗塞で倒れ緊急入院し、それをきっかけに次男であった裕司が橋本功織布工場に入りました。2015年に橋本裕司織布として承継しました。

■経営理念（経営指針）の成文化について

いつ頃・どのようなきっかけ（勉強方法や経緯）で作成しましたか

2023年、第65期経営指針づくり勉強会・成文化セミナーに参加して1冊目の指針書を作成しました。

その中での出来事について（社内での出来事・社員の変化など）

作成後すぐに地元の公民館を借りて家族に発表しました。最後まで聞いてくれて「わしらがやってきた工場と織機で新しい事してくれるんは嬉しい」と家内の仲が深まりました。

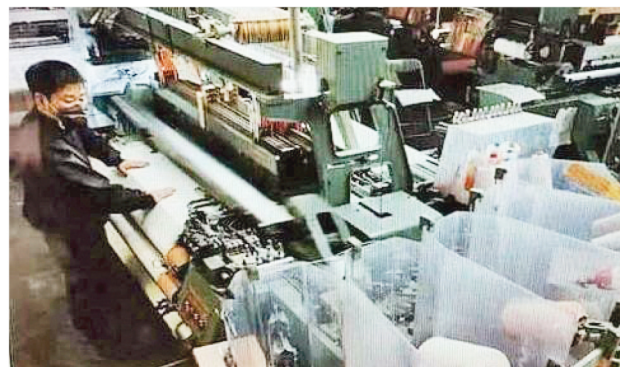
■経営理念について 経営理念への想い

織物の勉強に百貨店に行くと、私が織った生地がブランドシャツとして12,800円で売られていました。お客さんが真剣な表情でそのシャツを選ぶ姿に、播州織はお

客さんの幸せに直接貢献していることを実感しました。それと同時に作り手が幸せになれるとおかしい。この時の想いが頭から消えた事は一度もなく、成文化セミナーから帰宅後も「幸せに貢献する」という言葉が離れませんでした。

■これからの夢、抱負

播州弁で自分の事を「わえ」といいます。「made in わえ」といえる生地を作りたい。国内に限らず、沢山の人の私の作ったモノを買ってもらって喜んでもらいたい。そして、その先には時間もお金も気にせず織機を改造、制作し、モノづくりに没頭し、誰も作った事がないような凄い生地を作りたい。そんな思いに最近気が付きました。



シンガポール
販路開拓時の
展示会調査の
様子